



# Photograph 5月

## 今月の一枚 This month's best shot

撮影／市営墓地



### 市営墓地にマリーゴールドを植栽

NPO法人手をつなぐ育成会とNPO法人きゃべつくらぶの会員ら約30人が、市営墓地の2カ所の花壇にマリーゴールドの苗約3,000株を植付けました。マリーゴールドはメキシコ原産で、花の時期が長いことが特徴です。これから秋にかけて、お墓参りに訪れた方々の目を楽しませてくれます。



### カイゼンで文部科学大臣賞

5月7日

文部科学大臣表彰「創意工夫功労者賞」の受賞者が市長に授賞を報告しました。表彰は作業の能率化や品質向上に貢献した新たな技術や開発などを評価された方が対象です。「県内51人のうち27人が市内からであったことは裾野の誇りです」と市長が祝福しました。



### 楽しみながら子育てを

5月10日

幼児をもつ母親学級の開講式が生涯学習センター団体活動室で行われました。当日はお子守ボランティアが子どもたちを預かり、幼児をもつママ6人が参加しました。講師は家庭教育支援員の真田由紀さん。グループワークを交えての全10回の講座が始まりました。





## 親しまれ続けて50万人

5月13日

富士山資料館は1978年5月に開館して今年で40周年。資料館の来館者が50万人に達しました。50万人目は須山に住む杉山昭子さんと、市長から花束や記念品が贈られました。「たまたま来たら50万人目で驚きました。今後も訪れたいです」と話しました。



## 旅行企画の際はぜひ裾野市を

5月16日

2019年春に本県で展開する「デスティネーションキャンペーン」に向け、旅行会社の担当者ら約30人が当市を基点としたコースに参加し、須山浅間神社などを見学しました。当市を盛り込んだ旅行商品が多く企画されることに期待します。



## 初夏の涼風を楽しみながら

5月19日

澄み渡る青空の下、第41回五竜みどりまつりが中央公園で行われました。ステージではバンド演奏やフラメンコ、チアダンスなどが披露され、親子連れが露天の販売品を食べながら楽しみました。イベント終わりには餅まきが行われ、参加者は戦利品にニコニコ顔でした。



## 市の花“アシタカツツジ”の由来を知る

5月19日

アシタカツツジ講座が富士山資料館で行われました。参加者は市内の方23人。講師の明治大学教授半田高さんが講義しました。

参加者は真剣に耳を傾け、メモを取るなどして市の花“アシタカツツジ”への理解を深めました。



## 楽しさの中にも真剣なまなざし

5月20日

誰でもが楽しく参加できるのがレクスポ。第47回市スポーツ祭レクスポの部が市民体育館で行われました。競技はペタボード、輪投げ、ファミリーバトミントンの3種目。子どもからお年寄りまで、時に厳しく和気あいあいと楽しみました。



## ふるさとの富士山を形に

5月25日

富士山世界遺産登録5周年と富士山資料館開館40周年を記念し、ふるさと富士山芸術展が6月24日(日)まで行われています。富士山を題材に、一般の皆さんが思い思いに製作したつるしびなや絵画、写真などを展示。来館者は、色とりどりの富士山を楽しみました。